

Session 2-2

国連・持続可能な開発目標 SDG4：質の高い教育をみんなに

インクルーシブ教育は 人々の行動にどのような 影響をもたらすか

Impact of inclusive education towards behavioral change content

2018年 9月 21日(金)

9:30-12:30

セッション受付開始 9:10～

つくば国際会議場 小会議室 304

講演言語：日本語

入場無料・事前登録制

<https://tgs.w.tsukuba.ac.jp/>事前登録は
こちらから

スピーカー

ラミチャネ・カマル

筑波大学 人間系 准教授

船木由喜彦

早稲田大学 政治経済学術院教授

水野谷優

UNICEF, Monitoring and Statistics Specialist

ソフィー・ミトラ

Fordham University, Professor of Economics

世界ではどのようにインクルーシブ教育を行っているのでしょうか？
インクルーシブ教育に興味のある方！
日本と海外の違いを知りたい方！
ぜひご参加ください。

インクルーシブ教育とは・・・

障害者の権利に関する条約第24条によれば、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであり、障害のある者が「general education system」（署名時仮訳：教育制度一般）から排除されないこと、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮」が提供される等が必要とされている。

【問い合わせ】

筑波大学 国際室 教育開発国際協力研究センター
criced@un.tsukuba.ac.jp

インクルーシブ教育は行動に変化をもたらすのか？

オーガナイザー：

筑波大学 人間系 教育開発国際協力研究センター (CRICED)

ラミチャネ・カマル准教授

多様な背景をもつ人々に起こる差別は、地球規模課題のひとつです。その背景にある理由は多岐にわたります。たとえば教育へのアクセスや人間の多様性に関する意識の欠如など、自分と異なる人々との交流機会が不十分であることもその一因に挙げられます。また身体的差異に注目すれば、障害者は他のグループよりも差別を受けやすい傾向にあります。

こういった差別を軽減するため、政策立案者や研究者はこれまで多くの政策を検討してきました。そのひとつが現在、世界中で実施されている「インクルーシブ教育」です。これは障害のある生徒も無い生徒も、同じ教室で一緒に勉強するというシステムをさします。同じ学校、同じ教育環境を共有することにより、差別行動を抑制する可能性が期待されます。

インクルーシブ教育を推進している国のひとつがネパールです。ネパールでは早い段階から、視覚障害者を中心とした障害児童にインクルーシブな教育環境を提供しています。

本セミナーでは、日本学術振興会および大学助成金等の支援を受けて実施してきたネパールのフィールド実験研究報告のほか、経済学や教育学の専門家より理論的アプローチを紹介いただきます。多様な知見から本研究の重要性を議論し、教育に関する公平正当な環境を創出するための対話を促すことを目的としています。

2015年、ミレニアム開発目標 (MDGs) と、万人のための教育目標 (EFA) が終了し、2016年、国連加盟国は持続可能な開発目標 (SDGs) を定めました。教育に関する開発目標は次の通りです。

目標 4

「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」

目標 4.5

「2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民および脆弱な立場にある子どもなど、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする」

障害者のインクルージョンを促す項目が特記されていることから、本セミナーの重要性は明らかです。障害児の教育に関する質とアクセスが改善され、この目標が達成されることを願います。本セミナーが研究者や学生、教育者、政策立案者といった垣根を越えた、積極的な理解と交流を語る機会となれば幸いです。

基調講演:

船木由喜彦(早稲田大学 政治経済学術院教授)
ソフィー・ミトラ (フォーダム大学 経済学部教授)
水野谷優(ユニセフ、モニタリング・統計スペシャリスト)

スピーカー:

ラミチャネ・カマル(筑波大学人間系准教授)
辻本隆宏(筑波大学大学院 システム情報工学研究科 博士後期課程 社会工学専攻)
島田夏美(筑波大学大学院 システム情報工学研究科 博士後期課程 社会工学専攻)

プログラム:

9:10~	セッション受付開始	
9:30	趣旨説明	ラミチャネ・カマル氏 (筑波大学 准教授)
9:35	開会挨拶	永田恭介氏 (筑波大学 学長)
9:45-10:15	基調講演	船木由喜彦氏 (早稲田大学 教授)
10:15-10:45	講演	ラミチャネ・カマル氏 (筑波大学 准教授) 辻本隆宏氏 (筑波大学大学院) 島田夏美氏 (筑波大学大学院)
10:45-11:00	ディスカッション	
11:00-11:10	休憩	
11:10-11:35	基調講演	ソフィー・ミトラ氏(フォーダム大学 教授)
11:35-12:00	基調講演	水野谷優氏 (UNICEF)
12:00-12:30	パネルディスカッション 質疑応答	船木由喜彦氏 (早稲田大学 教授) ソフィー・ミトラ氏(フォーダム大学 教授) 水野谷優氏(ユニセフ) ラミチャネ・カマル氏 (筑波大学 教授)

日時: 2018年9月21日(金)9:30~12:30 (9:10 セッション受付開始)

場所: つくば国際会議場 小会議室 304(茨城県つくば市竹園 2-20-3)

参加料: 無料・オンライン登録制 <https://tgs.w.tsukuba.ac.jp/>

連絡先: 筑波大学 国際室 教育開発国際協力研究センター(CRICED)
criced@un.tsukuba.ac.jp